

夢

を持ち
を育み
を叶える

～大津町学校教育ビジョン基本理念～

Murofessional

(むろふえつしよなる)

～毎日・成長・実感～

vol.14

R2.10.16 文責：村田典子

後期スタート 未来を生きる子供たちへ・・・

本年度も折り返し。10月15日(木)、後期がスタートしました。始業式では、3・6年生が後期の決意等を述べましたが、「友だちへの接し方」「時間を守る」「あいさつ」「発表」など、それぞれの決意がなんとともさわやかで、後期もあの感動的な運動会を創り上げたエネルギーで格好いい姿を見せてくれるはず！とわくわくしました。

さて、この後半戦では、「してもらう」「あつらえてもらう」だけではなく、子供たち自身も学校を創り上げている当事者なんだ！という意識の育成にも力を入れていきます。

本校のグランドデザインの中には、重点的に育成を目指す資質・能力として、次の6つの力を定めています（学校だより vol.4:R2.5.18 で紹介）。

なかよく	
受け容れる力	・人の話を聴き、自分と異なる意見や考えがあっても、否定せず、受け止める ・出会う人々の多様な個性や考えを認めながら、自他の良さを活かそうとする
参画する力	・様々な人・こと・ものに興味や関心を抱き、自らかかわる ・諸課題に対し、自らの問題として主体的にとらえ、できることから取り組もうとする
かしこく	
問う力	・様々な情報や事象に対して「なぜ・どうして」など、疑問を持ってとらえる ・一面だけでなく多面的・総合的に物事をとらえている
伝える力	・言語意識(相手・目的・方法・場面・評価)をもって、表現しようとする ・相手との関係や場に応じたあいさつができる
たくましく	
自己管理力	・自分を律して心と身体の健康を保ち、あきらめずに継続しながら取り組む ・今日の自分を振り返りながら、成長を実感するとともに、今日よりいい明日にするために何をすべきか考える
見通す力	・先を予測して計画を立てたり、行動したりする ・自分の将来を見据えながら、教室の学びを日頃の生活やこれからと結び付けて考える

■ 大津高校生との交流

大津高校の3年生が、新型コロナウイルスの感染防止の特別授業にやってきました。対象は、保健委員会の子供たち。新型コロナの特徴や感染等による差別をなくすための呼びかけ等をテーマにした、手作り動画での学びの時間でした。緊張気味だった室っ子たちも質問や意見等を出しながら、身近にできる感染予防について考えました。

課題意識を持って、メッセージを伝えてくれた高校生たち。こんなふうに素敵に育ってくれるといいな...と思いました。



■ 運動会の写真について

先週の10月9日(金)に運動会の写真購入のご案内を通知いたしました。ネット上で写真をご覧いただき、注文と支払いは封筒で...という流れになります。学校の取扱いが、10月19日(月)までです。全児童の様子がより多く伝えられるようにと、かなりの枚数になっていますので、お子さんを探すのは大変かと思いますが、皆、とてもいい顔をしています。ご希望の方は、釣り銭のないようにお子さんにお持たせください。



この6つの力は、保護者の方からの「こんな子になって欲しい」、子供たちの「こんな自分になりたい」、教師の「こんな力を身に付けさせたい」という三者の思いと願い、そしてESDの視点を入れ、未来を生きる室っ子に必要な力として整理しました。

この評価にあたっては、教師が一方的に行うのではなく、子供たち自身に自分を振り返らせながら、自らの力を主体的に育てていく、そのためのツールを仕掛けました。それは、ルーブリックという、評価の指標です。高学年の児童は、このルーブリックで、6つの力を意識し、自分はどうだろう...と振り返っています（自己評価）。

以下、ルーブリックを活用した6年生の感想です。(チェックしやすい・ルーブリック表のいいところ)

★チェックしやすかった。次の目標が明確でわかりやすい。(心咲さん)

★チェックしやすいと思います。自分のことをしっかり振り返られるのはいいと思います。6年生の課題として「あいさつ」を頑張っているので

「あいさつ」のことを振り返られるのはいいと思いました(亜矢さん)

★自分がどのくらい頑張ったのかを簡単につけられる。次どうすればよいかをこのプリントだと目標を立てれる。(晃基さん)



学校の主役である子供たちの意見は、私たちの取組の評価でもあり、ありがたく大切に受け止めたところです。今後は、児童会でもこの6つの力の育成のために、どんな活動をしていくかという視点から、委員会活動を進めていく予定です。子供たちが、自らの可能性、さらに室小の新たな文化をどう拓いていくのか、とても楽しみです。